

寿会館 廃止

（新生・公・自＝賛成）
（共産・市民＝反対）

これまで通り使わせて！

長年にわたって高齢者クラブ等の重要な活動の場であった17の寿会館が、来年3月末で廃止になることが決まりました。今後、「高齢者クラブ等」の活動の場が大きく制約されることや会館利用が有料となるなどが懸念されます。

寿会館から「交流館」に移行する施設も、「交流館」に移行しない会館についても、地域のみなさんや高齢者クラブ等の活動の場が今までどおり確保されることが必要です。

日本共産党は、高齢者クラブ等が「交流館」を利用する際に、申込期間の優先や利用料の無料化、備品をおけるロッカーの設置など活動がきちんと保障されるよう議会でも求めてきました。



寿会館はこう変わる＝区計画

会館名	活用方法
白山 寿会館	
千石 寿会館	
水道 寿会館	18年4月より交流館とする。高齢者だけでなく午前・午後も全区民の利用となる。
大塚 寿会館	
目白台 寿会館(総合センター)	入浴サービスは廃止する。(18年4月から)
本郷 寿会館	
根津 寿会館(総合センター)	
千駄木 寿会館	
本駒込南寿会館	
湯島 寿会館(総合センター)	福祉センター分館とし、入浴サービスは継続。

区立交渉館にならない寿会館は

磯川 寿会館	18年度以降、介護予防事業・地域密着型サービスを提供する事業所として(民間)活用する予定
西原 寿会館	
小日向 寿会館	
森川 寿会館	
向丘 寿会館	18年4月以降、保育園として活用する予定
白山南 寿会館	引き続き活用方法を検討
本駒込北寿会館	売却の予定。

※西原、小日向寿会館等は区民利用も検討の方向。

入浴サービスつづけて

「交流館」に移行する寿会館の「お風呂」はすぐには撤去されません。「近くの公衆浴場がなくなり遠くまでには行けない、困っている」「せめて、交流館になってもお風呂の施設がそのままあるなら続けてほしい」という高齢者の願いに区は応え、当面、入浴サービスは続けていくべきです。

保育園 育成室

日本共産党は、保育園、育成室の待機児が増えているなかで「区の計画では対応できない。具体的な増設計画を示すべきだ」と求めてきました。

待機児対策さらに



〔保育園〕 待機児は、10月1日現在150名を超え、来年4月にはさらに新たな待機児が出ることは必至です。

らなる具体化が必要です。

〔育成室〕 小学校児童の約3割が育成室に通っています。文京区はこれまで「1人の待機児も出さない」がモットーでした。

区の「検討会」は、今後の新入室児童数を分析し、①18年度に誠之小学区域内に新設 ②19年度に千石地域に新設 ③汐見育成室は当面、学校内に部屋を確保し50名受け入れ、増設を検討する、と提言しました。区は、これを受け、その場しのぎでない先を見通した育成室の新増設を急ぐべきです。

2006年度 保育園児の増員計画では

区立大塚保育園定員増	5歳児 7名
目白台に認証保育園を新開設	30名
幼保一元化「柳町子どもの森」	1～5歳 58名
合計	95名増

18年度は「な」に



こうたけみ子区議

区は、公立保育園2園の民営化を、18年度は実施しないことを第3回定例区議会でも明らかにしました。人格の基礎をつくる乳幼児期の保育は重要です。民営化は、人件費切り下げによる「安上がり保育」に直結し、高い質の保育を揺るがすものであると日本共産党は撤回を求めてきました。

同時に16年2月より区と保育園父母の会とで「あり方協議会」が三次に亘り開かれ、論議を重ねてきました。いまだ結論は出ず、行革そのものへの疑問が噴出しました。この過程で、18年5月をめどに「保育ビジョン検討協議会(仮称)」を設立し、ビジョン策定の合意ができたことは画期的です。

区長に予算要望書を提出



区民のねがい実現にねばり強い運動つづける

日本共産党区議団

<<旧四中の跡地>>

活用は住民本位で検討を



関川けさ子区議

スポーツ団体や宅急便会社の暫定利用が続いていた旧四中跡地は、学校跡地活用協議会より「跡地の活用に関する検討結果報告書」の答申をうけていました。

ところが、10月の総務区民委員会に突然、東京大学から、大・中ホールやミュージアム等の「(仮称)学びの環プラザ未来像館」構想の提案があり、無償貸与を検討すると報告がありました。

関川議員は、住民が運動し苦労して確保した跡地は、東大からの提案だけでなく、「答申」や、特養ホーム・障害者施設・青少年施設・セレモニー施設などを望む住民の意見をよく聞き検討するよう求めました。

「保育園の冷房設備を全園・全保育室につけて」は、多くの保護者、保育士さんの切実な願いです。



小林 進区議

ここ数年の夏の暑さは異常です。「まともに食事が取れない」など、子どもたちの日常生活にも影響が出ています。

日本共産党は、毎議会で、冷房化を求めてきました。区は、全室に冷房が入っていない保育園のうち、向丘は17年度中に、千石西は18年度、駒込は21年度(耐震補強工事の際)に設置し、水道・藍染保育園は18年度以降に計画を具体化する予定です。

全ての保育園に冷房が1日も早く設置されるよう、引き続き取り組みをすすめていきます。

全保育室に設置急いで

地域コミュニティの核

小日向に 会館残して



板倉美千代区議

日本共産党などの反対を押し切り9月議会では寿会館の廃止が決まり、小日向寿会館・区民会館など4館は、来年4月から介護予防拠点施設に位置づけられました。

しかし、小日向、西原寿会館・区民会館については、高齢者クラブや町会、利用者のみなさんが廃止計画の発表以降、存続を求める署名を集め区長に提出するなど粘り強く運動してきました。これが力となり、施設の事業運営は民間業者が行ないますが、区として「地域の方々が使えよう事業者と調整の必要がある」との回答を得ました。

他に会館がない小日向地域に、地域の生活と密着した施設の存続がどうしても必要です。

区内初の幼保一元化園 「柳町こどもの森」



島元雅夫区議

来年4月、柳町幼稚園内に、柳町保育園を設置する「柳町こどもの森」が開設されます。定員162名のうち58名が長時間保育児で現在150名を超える待機児対策の一助となります。

子どもたちの発達段階に応じ、幼稚園・保育園それぞれの良さを生かした保育の実践を保障する十分な職員配置やカリキュラムの作成、給食調理直営化など万全の体制づくりが急務です。

柳町保育園			柳町幼稚園		
1歳児	2歳児	3歳児	区 分	4歳児	5歳児
8人	10人	12人	基本保育	52人	52人
			長時間保育	14人	14人
			計	66人	66人



高畑みさ子区議

文京区は、「建築物の解体工事の事前周知等に関する指導要綱」を制定しました。この要綱は、解体建築物のアスベスト等の使用状況を調査し、その有無を近隣住民に説明、使用が判明した場合は除去工事開始の7日前までに除去計画を報告するよう義務付けています。

また解体の標識設置は、木造の場合は工事開始の15日前、木造以外は30日前までと定めています。建設委員会で日本共産党は、要綱ではなく条例にすること、また、他区の例をあげ、個人住宅に対して10万円までの調査費、30万円までの工事費助成をはじめ、区内中小企業の店舗や事務所等でのアスベスト調査と除去工事に助成をするよう求めました。

建物の解体時 調査と除去工事の助成を

第3回定例会 本会議質問

- 代表質問 島元雅夫議員
- * 区民の緊急要求実現一保育園の待機児対策、乳がん検診の見直し、コミュニティバス、小学生までの医療費無料化、商店街連合会支援
 - * 新「行革」一保育園民間委託や寿会館廃止はやめよ、健康センターでの健康増進事業の継続
 - * 35人以上の学級への緊急対策を拙速な学校統廃合はやめよ
 - 一般質問 佐藤憲和議員
 - * アスベスト対策について
 - * 首都直下型地震対策を
 - * 介護保険の改定によるホテルコスト・食事負担の軽減策を、軽度者も現行水準のサービスを
 - * 障害者施策の充実を「自立支援法」に反対、作業訓練施設の家賃補助、グループホームなど複合施設を(全文は区議団ホームページを参照)

「目白運動場の存続と緑地保存」と、8月にも新たに2,500人近い署名が提出されました。



佐藤憲和区議

区は、10月7日の区議会総務委員会に、取得のための財源対策とスケジュールを報告。その後、公園として都市計画決定するための説明会に6ヶ所で延100名近くが参加しました。

砂埃対策やブロック塀・ガケの整備、住民協議会の設置、生態系調査、少年野球やサッカーも使える多目的広場、自由に遊べる公園、町会行事への貸し出し、運動場までの循環バスなど多様な要望が出されました。一日も早い取得と区民利用にむけ頑張ります。

目白運動場 一日も早く区民活用を